令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	文学国語	単位数	3	必修・選択	対象学年	3学年
使用教科書	新編　文学国語　（大修館書店）					
副教材等	国語の表現力トレーニングノート（大修館書店）　テスト式 国語常識の総演習（啓隆社）　新全訳古語辞典（大修館書店）					

1　学習の目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

2　道徳教育，キャリア教育との関連

道徳教育	文学国語に関する関心を深め、国語を尊重することにより日本の伝統と文化を尊重する態度を育成する。
キャリア教育	伝統的な言語文化である文学国語を読むことを通して、我が国の文化の特質としての人生観、自然観、美意識、言語観について考えを深め、社会生活において相互伝達、相互理解を進めていく能力を高める。

3　授業形態と学習方法

授業形態	基本的には一斉授業形式で行う。教科書、ワークシート、必要に応じ便覧も使用する。
学習方法	・一斉授業の中でペアワークやグループワークを実施する。 ・指示されたことには確実に取り組む。授業では黒板に書かれたことをただ書き写すのではなく、進んでメモをとる。 ・提出課題、小テストを適宜行い、評価に加える。単元ごとにワークシート提出を行い、評価に加える。

4　評価規準

知識・技能　知	思考・判断・表現　思	主体的に学習に取り組む態度　主
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めようとしている。	・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広めたり深めたりしようとしている。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

5　学習計画

	単元名	学習活動(指導内容)	計画時間	実施時数	評価方法
前期	1　心を見つめる	梨木香歩「飛ぶことを知っている魂」 河野裕子「クルミの小部屋」 □表現①	7		・ワークシートへの記述(知　思) ・学習活動の取組(主)　定期考査
	2　小説を楽しむ（二）	内海隆一郎「待合室」 藤沢周平「おぼろ月」 □表現②	10		・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)　定期考査
	3　古典の世界 4	源氏物語「桐壺」 「若紫」 □表現③	7		・ワークシートへの記述(知　思) ・学習活動の取組(主)定期考査
	4　文化を感じる	高階秀璽「夏の月」 穂村　弘「共感と驚異」 □表現④	7		・ワークシートへの記述(知　思) ・学習活動の取組(主)　定期考査
	5　短歌・俳句に親しむ	短歌・俳句の構成と表現 短歌　俳句 川柳を作ろう　俳句を作ろう □表現⑤	8		・ワークシートへの記述(知　思) ・学習活動の取組(主)　定期考査
	6　小説を味わう	井伏鱒二「山椒魚」 川上弘美「離さない」 □表現⑥	10		・ワークシートへの記述(知　思) ・学習活動の取組(主)　定期考査
	定期考査（中間考査・期末考査）		2		
後期	7　古典の世界	平家物語「能登殿最期」 史記「四面楚歌」 □語彙①	10		・ワークシートへの記述(知　思) ・学習活動の取組(主)
	8　名作を読む（二）	夏目漱石「こころ」 □論理①	11		・ワークシートへの記述(知　思) ・学習活動の取組(主)
	9　文学を生み出す	角田光代「私たちの黄色」 朝井リョウ「タイムリミット」 眉村　卓「書斎」 創作 □論理②	12		・ワークシートへの記述(知　思) ・学習活動の取組(主)
	10　文学の流れ 心を言葉に 季語を楽しむ	□卒業歌集	6		

6　単位認定の要件

欠課時数が３割を超えないこと。学年末評定において「1」が付かないこと。

7　教科担任より

授業では、文学的文章の本文を読むだけではなく、見たり、聞いたり、話したり、書いたりする活動も多くあります。また、教科書の本文について、他本の本文や他の分野の本文と比較したり、調べて発表したりする場面もあります。古典の読解の関係で、日本の思想、文化についても、情報収集、考察をします。配られたワークシート類はファイルにはさんで大切に保管し、復習した上で考査に臨みましょう。提出物の期限を守ることは、とても大切なことです。

令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	日本史探究	単位数	3	必修・選択	対象学年	3学年
使用教科書	「精選日本史探究　今につなぐ　未来をえがく」実教出版					
副教材等	「図説　日本史通覧」（帝国書院）「精選日本史探究　演習ノート」（実教出版）					

１．学習の目標

①我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
②我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
③我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

２．道徳教育，キャリア教育との関連

道徳教育	社会の在り方を考察する基礎としての正義・幸福・構成の理解を通じて情報モラルを含めた現代社会の課題を取り上げ、人間の在り方・生き方について理解させる。
キャリア教育	我が国及び世界の形成の歴史的過程と特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き、平和で民主的な国家・社会を形成する一員としての必要な自覚と資質を養う。

３．授業形態と学習方法

授業形態	(1)年間を通して遠隔授業となります。オリエンテーション時に何点か注意事項を説明しますので、特性を理解したうえで授業 に臨んでください。 (2)遠隔授業では Google workspace を資料の配布、読み取り、課題の提出などさまざまな場面で利用します。操作については都 度説明しますので、慣れてください。 (3)適宜、ペアワークやグループワークを行います。相手の意見や主張を尊重しつつ、自らの意見や主張を積極的に発信していきましょう。
学習方法	教科の特性上、学習事項が多岐にわたります。受け身な姿勢だけではなく、ぜひ主体的に学ぶようにしてください。わからないことがあったらGoogleクラスルームなどを活用して積極的に質問してください。

４．評価規準

知識・技能　知	思考・判断・表現　思	主体的に学習に取り組む態度　主
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

５．学習計画

	単元名	学習活動(指導内容)	予定時間	実施時間	評価方法
4月	○オリエンテーション１・ガイダンス ・科目の目標や年間計画を理解する。 第１編　原始・古代の日本と東アジア ○第１章 国家と文化の形成	・旧石器時代 ・縄文時代 ・弥生時代 ・古墳時代１節　歴史と私たち	7		①定期考査や提出物の記述等 ②ワークシートへの記述、グループワーク等での活動等 ③毎時の取組状況、振り返りシートなどの記入状況等
5月	○第２章 古代国家の確立	・飛鳥時代 ・奈良時代 ・平安時代	10		①定期考査や提出物の記述等 ②ワークシートへの記述、グループワーク等での活動等 ③毎時の取組状況、振り返りシートなどの記入状況等

6月	第２編　中世の日本と世界 ○第３章 中世社会の成立	１◇前期中間考査 ・平安時代 ・鎌倉時代節	12		①定期考査や提出物の記述等 ②ワークシートへの記述、グループワーク等での活動等 ③毎時の取組状況、振り返りシートなどの記入状況等
7・8月	○第４章 中世社会の展開	・室町時代	15		①定期考査や提出物の記述等 ②ワークシートへの記述、グループワーク等での活動等 ③毎時の取組状況、振り返りシートなどの記入状況等
9月	○第５章 統一政権の成立	◇前期期末考査 ・安土・桃山時代 ・江戸時代（前期）	12		①定期考査や提出物の記述等 ②ワークシートへの記述、グループワーク等
10月	○第６章 幕藩体制の展開	・江戸時代（中期） ・江戸時代（後期）	10		①定期考査や提出物の記述等 ②ワークシートへの記述、グループワーク等での活動等 ③毎時の取組状況、振り返りシートなどの記
11月	○第７章 大日本帝国の形成	・江戸時代（末期） ・明治時代（前期）	5		①定期考査や提出物の記述等 ②ワークシートへの記述、グループワーク等での活動等 ③毎時の取組状況、振り返りシートなどの記
11月	○第８章 大日本帝国とデモクラシー	◇後期中間考査 ・明治時代（後期） ・大正時代	5		①定期考査や提出物の記述等 ②ワークシートへの記述、グループワーク等での活動等 ③毎時の取組状況、振り返りシートなどの記入状況等
12月	○第９章 アジアの戦争と第二次世界大戦	・大正時代 ・昭和時代（戦前・戦中）	8		①定期考査や提出物の記述等 ②ワークシートへの記述、グループワーク等での活動等 ③毎時の取組状況、振り返りシートなどの記入状況等①定期考査や提出物の
1月	○第１０章 現代日本社会の形成と展開	・昭和時代（戦後） ・平成、令和の日本 ◇後期期末考査	6		①定期考査や提出物の記述等 ②ワークシートへの記述、グループワーク等での活動等 ③毎時の取組状況、振り返りシートなどの記入状況等

６．単位認定の要件

欠課時数が３割を超えないこと。
学年末評定において「１」が付かないこと。

７．教科担任より

毎回の授業をしっかり受け、定期考査に向けてはしっかり復習するようにしましょう。歴史的事象と現代の我々の生活とを比較し当時の人々の生活に思いをめぐらそう。また、史料を読んでの自分の考えや感想を書こう。
・遠隔配信センターの担当者との協議が済んでいませんので、後日変更があるかもしれません。（4/1 現在）

令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	政治・経済	単位数	2	必修・選択	対象学年	３学年
使用教科書	「政治・経済」（東京書籍）					
副教材等	「要点マスター政治・経済　整理と演習」（東京書籍）					

１．学習の目標

1 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
2 国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や，政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養う。
3 よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，日本および国際社会において国家および社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

２．道徳教育，キャリア教育との関連

道徳教育	広く、自らの個性を発揮、伸長しつつ、文化と福祉の向上、発展に貢献する能力と、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現、推進に向けて主体的に社会の形成に参画、協力する態度を育む。
キャリア教育	人間としての在り方・生き方についての自覚を育て、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。

３．授業形態と学習方法

授業形態	主に講義形式で行いますが、定期的に討議や個人発表を行う機会を設けます。 授業ではワークシートや資料を配布します。ファイルに入れるなどして復習しやすいようにまとめてください。なおワークシートは定期的に回収・点検します。 定期考査は前期中間、前期期末、後期中間、学年末の４回行います。
学習方法	経済、国際関係、政治の基本的な概念や理論を具体的な事例を通して学習するとともに、実際に政治や経済、国際関係に関する事象相互の関連や本質について探究していきます。また、その際、広い視野に立って客観的に考察する力や態度を養い、探究の方法や技能を身に付けていきます。

４．評価規準

知識・技能　知	思考・判断・表現　思	主体的に学習に取り組む態度　主
現代の政治、経済、国際関係に対して関心を高めていくとともに、意欲的に課題を追究し、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進を図るため客観的に考察しようとしている。	現代の政治、経済、国際関係に関する諸課題を発見し、その本質や特質、さらには望ましい解決の在り方について広い視野に立ち、多面的・多角的に考察するとともに、様々な立場を踏まえて公正な判断をしている。	現代の政治、経済、国際関係に関した諸資料を様々なメディアにより収集し、有用な情報を主体的に選択・活用するとともに、それを追究していく過程や結果について様々な方法を駆使して適切に表現していくことができる。

５．学習計画

	単元名	学習活動(指導内容)	予定時間	実施時間	評価方法
４月～５月	第２章　現代日本の経済 １節　現代の資本主義経済 ２節　現代経済のしくみ	1　経済活動の意義 2　資本主義経済の発展と変容 1　経済主体と経済の循環 2　生産のしくみと企業 3　市場経済の機能と限界 4　国民所得と経済成長 5　金融のしくみと機能 6　財政のしくみと機能	10		・考査(知，思，主) ・課題への取組(主) ・授業への取組(知，思，主) ・ワークシート(思，主) ・考えてみよう(主)
	３節　日本経済の発展と現状 ４節　福祉社会と日本経済の課題	1　戦後日本経済の発展 2　日本経済の現状 1　公害と環境保全 2　農業・食料問題 3　中小企業の現状と課題 4　情報化の進展と社会の変 5　消費者問題 6　雇用と労働問題 7　社会保障と福祉	4		・考査(知，思，主) ・課題への取組(主) ・授業への取組(知，思，主) ・ワークシート(思，主) ・考えてみよう(主)
６月	第３章　現代日本の諸課題	1　少子高齢社会における社会保障 2　地域社会の活性化 3　多様な働き方・生き方の実	4		・課題への取組(主) ・授業への取組(知，思，主) ・ワークシート(思，主) ・考えてみよう(主)

		現 4　中小企業の意義と課題 5　日本の財政の健全化 6　持続可能な食料・農業の実現 7　防災と安全・安心な社会の実現			
6月	第２章　現代の国際経済 １節　国民経済と国際経済 ２節　世界経済の現状と課題	1　貿易と国際収支 2　戦後国際経済体制の展開 3　発展途上国の経済 1　グローバル化する世界経済 2　地球環境問題 3　資源・エネルギー問題 4　人口・貧困・感染症 定期考査	4		・考査(知，思，主) ・課題への取組(主) ・授業への取組(知，思，主)
7月	第１編 現代日本の政治と経済 第１章 現代日本の政治 １節 民主政治の基本原理	1　民主政治の成立 2　法と民主政治 3　基本的人権の確立 4　現代の民主政治 5　世界のおもな政治体制	6		・課題への取組(主) ・授業への取組(知，思，主) ・ワークシート(思，主) ・考えてみよう(主)
8月	２節　日本国憲法の基本原理	1　日本国憲法の制定と基本原理 2　基本的人権の保障 3　平和主義	4		・課題への取組(主) ・授業への取組(知，思，主) ・ワークシート(思，主) ・考えてみよう(主)
9月	３節　日本の政治機構	1　国会と立法 2　内閣と行政 3　裁判所と司法 4　地方自治 期末考査	6		・考査(知，思，主) ・課題への取組(主) ・授業への取組(知，思，主) ・考えてみよう(主)
10月	４節　現代政治の特質と課題	1　戦後政治と政党 2　選挙と政治意識 3　世論と政治参加	6		・課題への取組(主) ・授業への取組(知，思，主) ・ワークシート(思，主) ・考えてみよう(主)
11月	第２編　グローバル化する国際社会 第１章　現代の国際政治 １節　国際政治のしくみ ２節　複雑化する国際政治と日本	1　国際政治の特質 2　国際社会と国際法 3　国際連合の役割と課題 2　冷戦後の国際関係と日本 1　戦後国際関係の展開と日本 2　冷戦後の国際関係と日本 3　地域主義の動き 4　軍縮の動向と課題 5　紛争・難民・テロリズム 6　国際社会における日本の役割 中間考査	6		・考査(知，思，主) ・課題への取組(主) ・授業への取組(知，思，主) ・考えてみよう(主)
12月	第３章　国際社会の諸課題	1　グローバル化にともなう社会変容 2　地球環境と資源・エネルギー問題 3　国際的な経済格差の是正	8		・課題への取組(主) ・授業への取組(知，思，主) ・ワークシート(思，主) ・考えてみよう(主)
1月		4　イノベーションの促進と成長市場 学年末考査	2		・考査(知，思，主) ・課題への取組(主) ・授業への取組(知，思，主) ・ワークシート(思，主) ・考えてみよう(主)

6．単位認定の要件

欠課時数が３割を超えないこと。
学年末評定において「１」が付かないこと。

7．教科担任より

毎回の授業をしっかり受け、定期考査に向けてはしっかり復習するようにしましょう。現代の政治・経済のしくみを大人になった時に困らないよう自分だったらどう考えるかという視点で見ていこう。

令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	体育	単位数	3	必修・選択	対象学年	3学年
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）					
副教材等	ワーク：現代高等保健体育ノート（大修館書店）　ステップアップ高校スポーツ 2022					

1．学習の目標

(1) 運動の合理的，計画的な実践を通して，運動の楽しさや喜びを深く味わい，生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため，運動の多様性 や体力の必要性について理解するとともに，それらの技能を身に付けるようにする。
(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
(3) 運動における競争や協働の経験を通して，公正に取り組む，互いに協力する，自己の責任を果たす，参画する，一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに，健康・安全を確保して，生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

2．道徳教育・キャリア教育

道徳教育	運度の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや自身の課題を見つけ、パフォーマンス向上に向けた取り組みを積極的に行う姿勢と仲間を大切にする態度育成する。
キャリア教育	運動における協働の経験を通し、ルールを守り、安全に、互いに協力し合いながら自己の責任を果たす態度を育成する。

3．授業形態と学習方法

授業形態	(実技)・体育館またはグラウンドにて各種目の実技 ・男女共修（種目や時期によって１～３学年合同） ・種目毎にスキルテスト実施 (体育理論)・教室にて座学またはグループ学習
学習方法	(実技) 事前準備、整理・整頓、準備運動、種目説明、部分練習、応用練習、後片付け、整列・挨拶 (体育理論) 教科書、授業プリント、学習シート、端末等使用し知識を深める。

4．評価の種類

知識・技能　知	思考・判断・表現　思	学びぬ向かう力　主
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それ らの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む，互いに協力する、自己の責任を 果たす、参画する，一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

5．評価基準

※　別紙参照

前期評定	後期評定	観点別評価（基準）
5	5	AAA　AAB　ABA　BAA
4	4	ABB　AAC　ACA　BAB　BBA
3	3	ABC　ACB　BAC　BBB　CAA　BCA CAB　CBA　ACC　BBC　BCB　CBB
2	2	CAC　CCA　BCC　CBC　CCB
1	1	CCC

A：十分満足できる　B：おおむね満足できる　C：努力を要する

6．学習活動

	単元名	学習活動（指導内容）	時間	実施	評価方法
前期	体つくり運動（4月～5月） 体育理論	・オリエンテーション ・体つくり運動 ・体力測定 ・座学、グループ学習、確認テスト	１２		・スキルテスト知 ・授業観察思 ・試合観察知・思・主 ・体育ノート思・主
	選択①（6月～7月） ・バドミントン ・マット運動 選択②（7月～9月） ・サッカー ・ソフトボール	【　前期選択体育について　】 ・選択した実施種目の計画を立てる ・指定された実技試験内容に基づき、１５時間で計画を立てる ・実技試験の実施は１０時間目で実施、残りの５時間はゲームを中心とした内容で計画する。	１５ １５ 計 ４２		・スキルテスト知 ・授業観察思 ・試合観察知・思・主 ・体育ノート思・主
後期	選択③（１０月～１１月） ・バレーボール ・現代的なリズムのダンス 選択④（１２月～１月） ・卓球 ・バスケットボール	【　後期選択体育について　】 ・選択した実施種目の計画を立てる ・指定された実技試験内容に基づき、１４時間で計画を立てる ・実技試験の実施は９時間目で実施、残りの５時間はゲームを中心とした内容で計画する。	１４ １４ 計 ２８ 累計　７０		・スキルテスト知 ・授業観察思 ・試合観察知・思・主 ・体育ノート思・主

7．単位認定の要件

欠時数が３割を超えないこと
学年末評定において「1」がつかないこと。

8．教科担任より

運動が得意な人も苦手な人も、運動の楽しさや大切さ、奥深さを存分に感じてほしいと思います。積極的に取り組もう！

令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	3	必修・選択	対象学年	3学年
使用教科書	APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATIONⅡ(開隆堂)					
副教材等	総合英語　be 4th Edition（いいずな書店） 総合英語 be 4th Edition English Grammar 24（いいずな書店） 必修英単語　LEAP　Basic（数研出版）					

1．学習の目標

日常的・社会的な話題について，話される速さや，使用する語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，
1．必要な情報を聞き取り，話の展開や話し手の意図を把握することができる。
2．必要な情報を聞き取り，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えることができる。
日常的・社会的な話題について，使用する語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，
3．必要な情報を読み取り，文章の展開や書き手の意図を把握することができる。
4．必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えることができる。
日常的・社会的な話題について，使用する語句や文，対話の展開などにおいて，一定の支援を活用すれば，
5．多様な語句や文を用いて，情報を考え，気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。
6．聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。

2．道徳教育，キャリア教育との関連

道徳教育	異文化を尊重し言語によるコミュニケーションを図り、国際的視野に立って世界の平和と人類の幸福に貢献する態度を育てる。
キャリア教育	外国語を通して、言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションに対する積極的な態度の育成と、相手の意見の理解力や自分の意見の表現力を養う。

3．授業形態と学習方法

授業形態	○　通常授業は基礎クラスと応用クラスで授業を行う。 ○　通常授業で必要な物：教科書１冊、副教材１冊、ファイル、タブレット（テスト時） ○　授業で習った英語表現をペア・グループワークの中で、アクティビティ（活動）をしながら練習する。 ○　レッスン毎にスピーキングテスト又は、ライティングテストを行う。
学習方法	板書に相当する内容が書かれているハンドアウトを配布します。教員は基本的にこのハンドアウトを使い授業を行います。

4．評価規準

知識・技能　知	思考・判断・表現　思	主体的に学習に取り組む態度　主
外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。

5．学習計画

	単元名	学習活動(指導内容)	計画時間	実施時間	評価方法
前期	Lesson 5 The Relay of Ahmed ‘s Life	推量を表す助動詞／助動詞+ have +過去分詞／would like to～／would rather～（than...）	21		・考査(知, 思, 主)，振り返り(主) ・確認テスト(知, 思) ・課題への取組(主) ・授業への取組(知, 思, 主) ・ノート(思, 主)
	Lesson6 Artificial Intelligence	SVOC／使役動詞／help +目的語+動詞の原形／知覚動詞	25		
後期	Lesson 7 Bando Is My Second Hometown	比較級+ than + any other～／～times +比較級+ than...／one of + the +最上級／完了不定詞／S + seem to + V	22		・考査(知, 思, 主)，振り返り(主) ・確認テスト(知, 思) ・課題への取組(主) ・授業への取組(知, 思, 主) ・ノート(思, 主)
	Lesson 8 The Great Discovery Out of an Accident	受動態の分詞構文／連続した出来事を表す分詞構文／完了形の分詞構文／付帯状況の with	22		

6．単位認定の要件

欠課時数が３割を超えないこと。学年末評定において「１」が付かないこと。

7．教科担任より

授業では音読、ペアワーク、グループワーク、アクティビティ、プレゼンテーションなど個人で行う内容と集団で行う内容があり、授業形態が切り替わります。授業には集中して臨み、指示を聞き逃さないようにしてください。プレゼンテーションを行う前には、計画的に準備し、スクリプトを声に出して練習してから臨んでください。グループでプレゼンテーションを行う前には、役割分担をして計画的に全員で練習をしてください。また、評価基準をふまえて準備を行ってください。

令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	情報処理	単位数	3	必修・選択	対象学年	3学年
使用教科書	情報処理　新訂版　Prologue Computer					
副教材等	学習と検定　全商情報処理検定テキスト　（実教出版）					

1．学習の目標

私たちが普段利用しているコンピュータの基本的なしくみや、ソフトウェアなどの情報処理機器の活用について学んでいきます。文書処理ソフトウェアや表計算ソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェアなどを利用し、情報を収集・整理し、分析・伝達するなど活用に必要な技術や知識を学びます。

2．道徳教育・キャリア教育

道徳教育	ビジネスに関する情報を収集・処理・分析し、分析した結果を表・グラフ・画像などを用いて適切に表現する知識と技術を習得させ、情報の意義や役割について理解させる。
キャリア教育	個人情報や知的財産の保護に留意し、ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。

3．授業形態と学習方法

授業形態	・授業は一斉授業で、コンピュータ室で行います。 ・教科書、問題集を使用します。また、随時プリントを配布するのでクリアファイルを１つ用意してください。 ・定期考査の他に実技考査や小テストなどを実施します。詳細は考査前に連絡をします。
学習方法	１年次に学習した知識を利用し、自分で考えながら授業に取り組んで下さい。また、口頭で説明することが多いので、各自必要だと思ったことは適宜メモを取るようにして下さい。

4．評価基準

知識・技能　知	思考・判断・表現　思	主体的に学習に取り組む態度　主
企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、課題に適した技術を身に付けている。	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて自分なりに物事を考え、解決しようとしている。	企業活動を改善する能力の向上を目指し自ら学び、情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

5．学習活動

	単元名	学習活動（指導内容）	標準時間	評価方法	実施時間
前期	第１章企業活動と情報処理 第５章プレゼンテーション	１　情報処理の重要性 ２　情報モラルと法規 ３　コミュニケーションと情報デザイン １プレゼンテーションの技法 ２ビジネスにおけるプレゼンテーション	１３	・振り返り（主） ・確認テスト（知、思） ・課題への取組（知、思、主） ・授業への取組（知、思、主）	
前期	第３章情報の集計と分析	１ビジネスと統計 ２関数を利用した表の作成 ３グラフの作成 ４情報の整列・検索・抽出 ５問題の発見と解決の方法	５０	・振り返り（主） ・確認テスト（知、思） ・課題への取組（知、思、主） ・授業への取組（知、思、主）	
後期	第２章コンピュータシステムと情報通信ネットワーク	１コンピュータシステムの概要 ２情報通信ネットワークのしくみと構成 ３インターネットの活用 ４情報セキュリティの確保	１３	・考査（知、思、主） ・振り返り（主） ・確認テスト（知、思） ・課題への取組（知、思、主） ・授業への取組（知、思、主）	
後期	第４章ビジネス文書の作成	１ビジネス文書の表現 ２基本文書の作成 ３応用文書の作成	１４	・振り返り（主） ・確認テスト（知、思） ・課題への取組（知、思、主） ・授業への取組（知、思、主）	

6．単位認定の要件

・欠課時数が３割を超えないこと。
・学年末の成績で評定が「１」とならないこと。
・検定合格に向けてしっかりと取り組むこと。（検定の取り組み状況と結果を反映します。）

7．教科担任より

適切な情報の取り扱い方を身に付け、コンピュータやインターネットを適切に活用できるように日々の授業に取り組んでいくこと。就職する人も進学する人も、社会にでてから必要となる知識・技術なので、最後まであきらめずに、まずは、「やる」ことを念頭に頑張って下さい。

令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	保育基礎	単位数	3	必修・選択	対象学年	3学年
使用教科書	保育基礎					
副教材等	なし					

1．学習の目標

保育の意義や方法，子どもの発達と生活の特徴，子どもの福祉や文化について理解し，関連する技術を身につけ，保育や子育て支援に寄与する資質・能力を養う。

2．道徳教育，キャリア教育との関連

道徳教育	実際に子どもと触れ合うことで『命の尊さ』を感じ、自らの成長について実感し、将来への希望につなげる。
キャリア教育	実習等を通して実践力、コミュニケーション能力、思考力・判断力・表現力を育む。

3．授業形態と学習方法

授業形態	○座学（一斉授業, プリント学習）及び実技を伴う実習。
学習方法	○保育に関わる課題について思考を深め，課題を発見する。 ○実際に乳幼児とふれあう学習など，実践的な学習活動を行う。 ○周りの生徒と共同しながら主体的に学び，保育に関わる知識や技術を身につける。

4．評価規準

知識・技能　知	思考・判断・表現　思	主体的に学習に取り組む態度　主
保育に関する基礎的･基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特性，生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ，その解決をめざして思考を深め，適切に判断し，工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達や保育への関心を持ち，意欲的に学習に取り組み，子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。

5．学習計画

	単元名	学習活動(指導内容)	予定時数	実施時数	評価方法
前期	1章　子どもの保育 1節　保育の意義	①保育とは ②保育の意義	7		・授業への取組(知, 思, 主)
	2節　保育の方法	①保育者の役割とは ②一人ひとりに合わせた指導	8		・授業への取組(知, 思, 主)
	3節　保育の環境	①家庭での保育 ②幼児教育・保育の場 ③子どもが育つ環境の変化と課題【保育実習】	8		・実習への取組(主), 振り返り(思)
	2章　子どもの発達 1節　子どもの発達の特性	①発達と保育 ②発達の共通性と個別性	7		・授業への取組(知, 思, 主)
	2節　子どものからだの発達	①発育・発達の評価 ②身体的特徴 ③生理的特徴	7		・授業への取組(知, 思, 主)
	3節　子どもの心の発達	①社会・情緒的な発達 ②知的発達 ③言葉の発達	7		・授業への取組(知, 思, 主)
	4章　子どもの文化 1節　子どもの文化の意義と支える場	①子どもの文化 ②子どもの文化を支える場【保育実習】	8		・実習への取組(主), 振り返り(思)
	定期考査	中間考査、期末考査	1		
後期	2節　子どもの遊びと表現活動	①遊びと発達 ②遊びと表現活動【被服実習】	7		・実習への取組(主), 振り返り(思)
	3章　子どもの生活 1節　子どもの生活と養護	①生活と健康 ②栄養と食事 ③衣生活【被服実習】	7		・実習への取組(主), 振り返り(思)
	2節　生活習慣の形成	①子どもの生活習慣 ②基本的生活習慣 ③社会的生活習慣【保育実習】	8		・授業への取組(知, 思, 主)
	3節　健康管理と事故防止	①子どもの健康管理 ②事故の防止と応急処置	7		・授業への取組(知, 思, 主)
	5章　子どもの福祉 1節　子ども観	①子ども観の変遷 ②権利の主体としての子どもへ	7		・授業への取組(知, 思, 主)
	2節　子どもの福祉	①児童福祉 ②子どもをとりまく課題と対策 ③子どもが育つ社会環境	7		・授業への取組(知, 思, 主)

	3節　子育て支援	①子育て支援からパートナーシップへ ②社会的養護 ③地域の子育て支援 【保育実習】	8		・授業への取組(知, 思, 主)
	定期考査	中間考査、期末考査	1		
計			105		

6．単位認定の要件

欠課時数が3割を超えないこと。
学年末評定において「1」が付かないこと。

7．教科担任より

○保育実習を年2回行う予定です。実習では子どもと積極的に関わろうとする力（主体的な態度）を大切にしてください。
○保育教材製作のため、別途実習費を必要とします。

令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	発展数学	単位数	2	必修・選択	対象学年	３学年
使用教科書	新編　数学Ⅰ（数研出版）　新編　数学Ａ（数研出版）					
副教材等	新課程　リンク数学演習Ⅰ・Ａ受験編ａ＋ｂ（数研出版）					

１．学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 数学的活動を通して、数と式、集合と命題、２次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形の性質、整数の性質における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

２．道徳教育，キャリア教育との関連

道徳教育	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。
キャリア教育	数学的活動を通して、数学と社会との関連について触れ、社会での活用の状況、数学を活用することで成り立つ職業について理解を深めて、自らの進路選択につなげていく。

３．授業形態と学習方法

授業形態	問題演習と解説を中心に行うが、授業における解説は生徒が中心になって行い、互いに考えを共有・相談・協力しながら問題を解決し、理解を深める。
学習方法	１　まずは授業を大切にしてください。 ノートを取ることよりも、先生の話に集中し理解する。話の中で大事だと思った事は、すぐにメモを取る。板書を写すだけでなく、後で勉強しやすいように、自分だけのノートを作り上げてください。 ２　予習・復習を行ってください。 宿題をすることは当然のことですが、その日のうちに授業の復習をしなければ、どんどん忘れます。復習をした後は、明日の予習。教科書を読み例題を解きましょう。

４．評価規準

知識・技能　知	思考・判断・表現　思	主体的に学習に取り組む態度　主
・数学的活動を通して、数と式、集合と命題、２次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形の性質、整数の性質における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。 ・事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	・命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

５．学習計画

	単元名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	第１章　数と式		8	・考査(知，思，主)，振り返り(主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	第２章　集合と命題		4	・考査(知，思，主)，振り返り(主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	第３章　２次関数		8	・考査(知，思，主)，振り返り(主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	第４章　図形と計量		8	・考査(知，思，主)，振り返り(主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	定期考査	中間考査，期末考査	2	
後期	第５章　データの分析		4	・考査(知，思，主)，振り返り(主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	第６章　場合の数と確率		10	・考査(知，思，主)，振り返り(主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	第７章　図形の性質		8	・考査(知，思，主)，振り返り(主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	第８章　整数の性質		6	・考査(知，思，主)，振り返り(主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	定期考査	中間考査，学年末考査	2	

６．単位認定の要件

欠課時数が３割を超えないこと。
学年末評定において「１」が付かないこと。

令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	生涯スポーツ	単位数	2	必修・選択	対象学年	3学年
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）					
副教材等	ステップアップ高校スポーツ 2022					

1．学習の目標

スポーツの歴史や文化を学び、現代社会におけるスポーツの意義を理解し、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ態度を育成し、様々なスポーツを通して、個人の体力、性別、経験に応じてルールを柔軟に捉え、楽しむ姿勢を身に付ける。

2．道徳教育・キャリア教育

道徳教育	生涯にわたってスポーツ活動を楽しみながら健康増進を図るとともに、幼児から高齢者までのあらゆる人達がスポーツを通して人生が豊かになることを理解し、スポーツ活動を実践する態度を育てる。
キャリア教育	スポーツに関連する職業を理解し、どのように自分自己の人生にスポーツを活かし、位置づけるか検討することで、スポーツを活かしたキャリア形成に結び付ける。

3．授業形態と学習方法

授業形態	体育館またはグラウンドにて各種目の実技、男女共修、教室にて座学またはグループ学習。
学習方法	（実技）事前準備、整理・整頓、準備運動、種目説明、部分練習、応用練習、後片付け、整列・挨拶 （体育理論）教科書、授業プリント、学習シート、端末等使用し知識を深める。

4．評価基準

知識・技能 知	思考・判断・表現 思	学びに向かう力 主
種目の特性、ルール、審判方法を身に付けている。自己の能力と運動の特性に応じた課題解決を目指して運動を行い、技能を高めることができる。	集団の興味関心、性別、経験を十分に考慮した上で、課題解決を目指し、活動の仕方を考える。	運動の楽しさや喜びを深く味わう事ができるよう、自ら進んで計画的に学習・運動しようとする。

5．評価基準

※ 別紙参照

前期評定	後期評定	観点別評価（基準）
5	5	AAA　AAB　ABA　BAA
4	4	ABB　AAC　ACA　BAB　BBA
3	3	ABC　ACB　BAC　BBB　CAA　BCA CAB　CBA　ACC　BBC　BCB　CBB
2	2	CAC　CCA　BCC　CBC　CCB
1	1	CCC

A：十分満足できる　B：おおむね満足できる　C：努力を要する

6．学習活動

	単元名	学習活動（指導内容）	時間	実施	評価方法
前期	体つくり運動（4月）	・オリエンテーション ・体つくり運動 ・コミュニケーションゲーム	6		・授業観察思 ・試合観察知・思・主 ・ワークシート思・主
	ミニバレー（4～5月）	・ゲームのルール ・ゲームの実施	10		
	パークゴルフ（5～6月）	・ルールを理解 ・実施方法	10		
	バドミントン（7～8月）	・ゲームのルール ・ゲームの実施	10		
	レクリエーション（9月）		6		
			計 42		
後期	創作種目① ネットを使った種目	・各種競技の企画・運営	10		・授業観察思 ・試合観察知・思・主 ・ワークシート思・主
	創作種目② ネットを使わない種目	・各種競技の企画・運営	10		
	オリンピックについて	・オリンピックの歴史や仕組み	8		
			計 28 累計 70		

7．単位認定の要件

欠時数が3割を超えないこと
学年末評定において「1」がつかないこと。

8．教科担任より

運動が得意な人も苦手な人も、運動の楽しさや大切さ、奥深さを存分に感じてほしいと思います。積極的に取り組もう！

令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	生物	単位数	4	必修 (選択)	対象学年	３学年
使用教科書	生物（数研出版）					
副教材等	ワーク：改訂版　リードLight ノート生物(数研出版)					

１．学習の目標

(1) 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
(2) 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
(3) 生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

２．道徳教育，キャリア教育との関連

道徳教育	自然と人間のかかわりについて認識を深め、観察や実験を行い、科学的な探求能力を育て、真理を大切にする態度を育成する。
キャリア教育	自然の事物・現象を観察する力を育成し、根拠を明確にして論理的かつ本質的に考える力・探求する力を育む。

３．授業形態と学習方法

授業形態	○基本的に一斉授業形式で行う。実験等がある場合，適宜化学教室で授業を行う。 ○筆記用具として最低３色(黒，赤，もう一色)は準備すること。 ○教科書，プリントを閉じるファイル，ワークを持ってくること。
学習方法	通常の授業では話をしっかり聴き，プリントに記入していくこと。特にプリントの内容だけでなく話の内容からメモをとり，『自分だけのプリントを作り上げる』ということを意識すること。 プリントおよびワークは適宜回収，評価する。

４．評価規準

知識・技能　知	思考・判断・表現　思	主体的に学習に取り組む態度　主
日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	観察，実験などを行い，科学的に探究することができる。	生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとしている。また，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与しようとしている。

５．学習計画

	単元名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	１編	１章　生物の進化	20	・テスト(知，思，主)，振り返り(主) ・課題，レポートへの取組(主) ・授業への取組(知，思，主) ・ワーク(思，主)
	２編 生命現象と物質	２章　細胞と分子 ３章　代謝	20	・テスト(知，思，主)，振り返り(主) ・課題，レポートへの取組(主) ・授業への取組(知，思，主) ・ワーク(思，主)
	３編 遺伝情報の発現と発生	４章　遺伝情報の発現と発生	18	・テスト(知，思，主)，振り返り(主) ・課題，レポートへの取組(主) ・授業への取組(知，思，主) ・ワーク(思，主)
	定期考査	中間考査，期末考査	2	
後期	４編 生物の環境応答	５章　動物の反応と行動 ６章　植物の環境応答	33	・テスト(知，思，主)，振り返り(主) ・課題，レポートへの取組(主) ・授業への取組(知，思，主) ・ワーク(思，主)
	５編 生態と環境	７章　生物群集と生態系	25	・テスト(知，思，主)，振り返り(主) ・課題，レポートへの取組(主) ・授業への取組(知，思，主) ・ワーク(思，主)
	定期考査	中間考査，学年末考査	2	

６．単位認定の要件

欠課時数が３割を超えないこと。
学年末評定において「１」が付かないこと。

７．教科担任より

生物では，生物基礎の知識をもとに，発展的な内容を取り扱います。様々な「しくみ」や「流れ」を自分の言葉で説明できる力を身につけていきましょう。

令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	課題研究	単位数	4	必修・選択	対象学年	３学年
使用教科書	なし					
副教材等	なし					

１．学習の目標

１　自ら課題を設定し、自ら学び、主体的に判断し、課題の解決を図るための調査及び研究をおこなう。
２　課題を解決する学習をとおして、専門的な知識と技術の深化、総合化を図る。
３　グループ活動をとおして、他者と協力して課題を発見し解決する能力や人に伝えるために必要な表現力を育てる。

２．道徳教育・キャリア教育

道徳教育	・自ら課題を設定し、その課題の解決を図る学習をとおして、専門的な知識と技術を身につける。
キャリア教育	・目標達成に向けて計画的に取り組む力を身につけるとともに、人に伝えるために必要な表現力を身につける。

３．授業形態と学習方法

授業形態	７月前半までは、各自の目標に従い、自学自習で資格取得に取り組みます。 ７月中旬からは、グループごとに課題に取り組み、その解決方法を話し合い、まとめ、発表をおこないます。
学習方法	・３年間で学習してきたことを用いて、課題解決をしていくことになります。情報機器の操作のみならず、国語・社会・数学などの知識が必要になります。

４．評価基準

知識・技能　知	思考・判断・表現　思	主体的に学習に取り組む態度　主
課題解決に向けての方策を実務に即して体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身につけている。	商業各分野に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身につけている。	ビジネスを適切に転換回する力の向上を目指して自ら学び、主体的かつ協働的に取り組み態度を身につけている。

５．学習活動

	単元名	学習活動（指導内容）	標準時間	評価方法	実施時間
前期	・職業資格の取得	・各自で目標とする資格、旧を選択する。 ・検定取得に向けて各自で計画を立て、問題集 等に取り組む。	52	・課題への取組（知、思、主） ・授業への取組（知、思、主） ・検定への取組（知、思、主）	
前期	・経済探求（1）	・日本証券業協会が提供する「株式会社をつくろう」を利用し、株式会社のしくみやその役割、計器のしくみなどについて、体験学習を通して学習する。	30	・振り返り（主） ・課題への取組（知、思、主） ・授業への取組（知、思、主）	
後期	・経済探求（2）	・日本証券業協会が提供する「金融クエスト」を利用し、金融・経済・企業について体験学習する。	30	・振り返り（主） ・課題への取組（知、思、主） ・授業への取組（知、思、主）	
後期	・消費生活活動	「消費生活活動」、「悪徳商法」についてゲーム形式で身近なものとして捉えていく。 ・学年末考査（筆記試験）	8	・振り返り（主） ・課題への取組（知、思、主） ・授業への取組（知、思、主）	

６．単位認定の要件

・欠課字数が３割を超えないこと。
・検定合格に向けてしっかりと取り組むこと。
・グループ活動において、各自が役割を把握し他者が共感できる発表ができるように努力すること。

７．教科担任より

・各自がしっかりと目標を持ち、その目標が達成できるように努力すること。
・発表においては、第３者の目線で物事を考え、共感を得られるような作品の制作に心がけること。

令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	実用数学	単位数	3	必修・選択	対象学年	３学年
使用教科書	新編　数学Ⅰ（数研出版）　新編　数学Ａ（数研出版）					
副教材等	新編　実用数学セミナー（浜島書店）					

１．学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 数学的活動を通して、数と式、集合と命題、２次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形の性質、整数の性質における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

２．道徳教育，キャリア教育との関連

道徳教育	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。
キャリア教育	数学的活動を通して、数学と社会との関連について触れ、社会での活用の状況、数学を活用することで成り立つ職業について理解を深めて、自らの進路選択につなげていく。

３．授業形態と学習方法

授業形態	問題演習と解説を中心に授業を行います。 授業における解説は生徒が中心になって行い、互いに考えを共有・相談・協力しながら問題を解決し、数学Ⅰ・Ａの一層の理解を深めます。
学習方法	１　まずは授業を大切にしてください。 ノートを取ることよりも、先生の話に集中し理解する。話の中で大事だと思った事は、すぐにメモを取る。板書を写すだけでなく、後で勉強しやすいように、自分だけのノートを作り上げてください。 ２　予習・復習を行ってください。 宿題をすることは当然のことですが、その日のうちに授業の復習をしなければ、どんどん忘れます。復習をした後は、明日の予習。教科書を読み例題を解きましょう。

４．評価規準

知識・技能　知	思考・判断・表現　思	主体的に学習に取り組む態度　主
・数学的活動を通して、数と式、集合と命題、２次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形の性質、整数の性質における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。 ・事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	・命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

５．学習計画

	単元名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	１，数と式 Pick up１～13	・すでに学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりできるようにする。 ・１次不等式を事象の考察に活用するとともに、絶対値を含む方程式や不等式の理解を深める。	28	・考査(知，思，主)，振り返り(主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	２，２次関数 Pick up14・17・18	・２次関数のグラフについて理解を深め、最大値・最小値や２次方程式のあらゆる解法の考察ができるようにする。	8	・考査(知，思，主)，振り返り(主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	３，応用問題 Pick up15・16	・既に学習した内容をもとに式を立て、問題を解決できるようにする。	8	・考査(知，思，主)，振り返り(主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	４，図形と計量 Pick up19～21	・三角比の意味や相互関係についての理解を深め、それらを平面や空間の図形における計量の考察に活用できるようにする。	8	・考査(知，思，主)，振り返り(主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	定期考査	中間考査，期末考査	2	
後期	４，図形と計量 Pick up22～24	・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、三角比を活用して問題を解決できるようにする。	10	・考査(知，思，主)，振り返り(主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	５，場合の数と確率 Pick up25・26	・集合の考え方を用いて場合の数について理解を深め、それを活用して日常や社会の確率の考察ができるようにする。	10	・考査(知，思，主)，振り返り(主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	６，規則性の問題 Pick up32	・数字の配列に規則性を考察できるようにする。	4	・考査(知，思，主)，振り返り(主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	７，総合問題 Pick up33	・既に学習した内容について、演習に取り組む。	10	・考査(知，思，主)，振り返り(主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	定期考査	中間考査，学年末考査	2	

令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	論理・表現Ⅱ	単位数	3	必修・選択	対象学年	3学年
使用教科書	NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅱ（東京書籍）					
副教材等	Future Globe、Approach to SDGs 1英検3級ー準2級レベル 高校時事英文問題集					

1．学習の目標

一定の支援を活用すれば，多様な語句や文を用いて，
1. 文脈にあった質問や答えを続けることで，情報や考え，気持ちなどを詳しく伝え，立場や状況が異なる相手と交渉することができる。
2. 論理の構成や展開を工夫することで，情報や考え，気持ちなどを，詳しく話して伝えることができる。
3. 論理の構成や展開を工夫することで，情報や考え，気持ちなどを，詳しく書いて伝えることができる。

2．道徳教育、キャリア教育との関連

道徳教育	異文化を尊重し言語によるコミュニケーションを図り、国際的視野に立って世界の平和と人類の幸福に貢献する態度を育てる。
キャリア教育	外国語を通して、言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションに対する積極的な態度の育成と、相手の意見の理解力や自分の意見の表現力を養う。

3．授業形態と学習方法

授業形態	○　通常授業はクラスにて一斉授業を行う。 ○　通常授業で必要な物：教科書１冊、Future Globe、ファイル、タブレット端末 ○　授業で習った英語表現をペア・グループワークの中で、アクティビティ（活動）をしながら練習する。 ○　レッスン毎にスピーキングテストヌは、ライティングテストを行う。
学習方法	板書に相当する内容が書かれているハンドアウトを配布します。教員は基本的にこのハンドアウトとテレビを使い、授業を行います。グーグルクラスルームも活用します。

4．評価規準

知識・技能　知	思考・判断・表現　思	主体的に学習に取り組む態度　主
Model の内容を理解している。 テーマに関連した活動に使える表現について理解している。（小テスト、評価問題など）	授業中に言語活動の取り組みを積極的に行う。	Make Your Own への取り組みを教員または生徒同士が評価する。 課題の内容や提出をする。

5．学習計画

	単元名	学習活動(指導内容)	予定時間	実施時間	評価方法
前期	Unit 1 Lesson 1	友達に報告する	7		・小テスト(知、思、主)、振り返り(主) ・確認テスト(知、思) ・課題への取組(主) ・授業への取組(知、思、主) ・ワークシート(思、主)
	Unit 1 Lesson 2	日本での初投稿	7		
	Unit 1 Lesson 3	経験についてのスピーチ	7		
	Unit 1 Lesson 4	ファンレター	7		
	Unit 1 Lesson 5	イベントに誘う	7		
	Unit 1 Lesson 6	図書館で資料さがし	7		
後期	Unit 1 Lesson 7	翻訳についてのスピーチ	7		・小テスト(知、思、主)、振り返り(主) ・確認テスト(知、思) ・課題への取組(主) ・授業への取組(知、思、主) ・ワークシート(思、主)
	Unit 1 Lesson 8	通信販売で返品依頼	7		
	Unit 1 Lesson 9	タクシーに乗る	7		
	Unit 1 Lesson10	友達とディスカッション	10		
	Unit 1 Lesson11	比較結果のプレゼンテーション	7		
	Unit 1 Lesson12	就きたい職業	10		

欠課時数が３割を超えないこと。
学年末評定において「１」が付かないこと。

7．教科担任より

授業では音読、ペアワーク、グループワーク、アクティビティ、プレゼンテーションなど個人で行う内容と集団で行う内容があり、授業形態が切り替わります。授業には集中して臨み、指示を聞き逃さないようにしてください。プレゼンテーションを行う前には、計画的に準備し、スクリプトを声に出して練習してから臨んでください。また、評価基準をふまえて準備を行ってください。小テストを行う際には、タブレット端末で自分のスピーキングを録画し、後に振り返ってもらいます。恥ずかしがらずに、自信を持って英語を話してください。